

# 防災かわら版

第9号 平成26年3月

発行：つくし野1・2丁目自治会 自主防災隊本部

一年を振り返って

防災部副部長 酒井雅章

昨年の2月に平成25年度の自治会班長になり大ブロック長及び防災部の副部長に決まりビックリしました。今まで自治会への参加は無であり防災部及び自主防災隊があることも知りませんでした。

毎月1回の自主防災隊の打ち合わせや、7・28 町田市防災講習会（市内の自主防災隊への講習会）、8・25 町田市防災訓練（セントラルパークで消火訓練、災害時飲料水設備の確認）に参加し、少しずつ防災に対しての勉強をしたつもりです。

また年2回（春・秋）の防災訓練は自主防災隊が主体となり、企画・運営のため市役所、消防、警察など各担当者が細かい打ち合わせを行い、各班長様の協力もあり事故もなく無事終了しました。

平成26年1月23日東京都主催「地域防災学習交流会」に参加し、非常に参考になりましたので一部を報告いたします。

議題：首都直下地震の備えと地域防災力の向上

講師：筑波大名誉教授 梶秀樹先生

内容：①首都直下地震が今後30年以内に70%の確率で発生（30年後でなく明日にでも発生するかもしれない）

②地震が起きる前に

㊸家具固定、消火器を用意する（家の中が非常に危険である）

㊹食料、飲料水等々を最低3日間用意する。

③地震が起きたら

㊸まず自助努力を（他人の力に頼らず自分の力で）

④近所のコミュニケーションが重要である。（各家庭の災害時要援護者を把握）

⑤都内地震危険地区が多いが、つくし野地区は比較的安全地帯です。

地域社会の結束を強化するには年2回の防災訓練を行い近所のコミュニケーションをとる必要があると思います。

また、自主防災隊の隊員の新規募集を行っていますので気楽に参加を願っています。

最後に自治会と自主防災隊の打ち合わせや書類の作成等は全て自治会石原防災部長が行い、副部長としてあまりお手伝いできず反省しております。



## 自主防災隊本部メンバー募集

「自主防災隊本部」は、「つくし野 1・2 丁目自治会・自主防災隊」の防災活動を機能的に果たすため自治会と連携し担当自治委員の協力のもと防災活動を主体的に執行する自治会有志の組織です。

新たに発足して二年経ち、地震防災についての学習・研鑽や防災訓練などの活動を通じ、いざというときの備えが少しずつできてきましたが、まだまだ共助のための「本部組織」は非力で、「地震は来る・・首都直下型地震が30年以内に70%の確率」に充分対応できるとは言えません。

自分たちのことは自分たちで守るという「強い意識」が必要です。みんなが防災について学ばなければなりません。みんながその機会を活かすことが大事です。

### ☆新しいメンバーを募集しています、あなたの力を貸してください！

( 現在 女性 13 名と男性 11 名 40代から70代 )

#### ① ぜひ、あなたもお気軽にご参加ください！

主な活動は毎月第2土曜日、夕方5時半から2時間ほど、つくし野コミュニティーセンターで月例会を行っています。そこでは主に、首都直下型地震が起きた時にどうするか？ということ、みんなで考え、いつも和やかで真剣な話し合いをしています。

ぜひ一度覗いてみてください・・・お待ちしております。

② また、メンバーのように月例会には出られないが、防災活動にご協力いただける方は「**防災隊サポーター**」として「ご登録」いただきますと、メールで月例会の議事録をお届けいたします、また防災訓練などのお手伝いをさせていただくこともございます。

\*なお、本件に関してのお問合せは、電話：738-8048（ホソミ）までお願いします。

